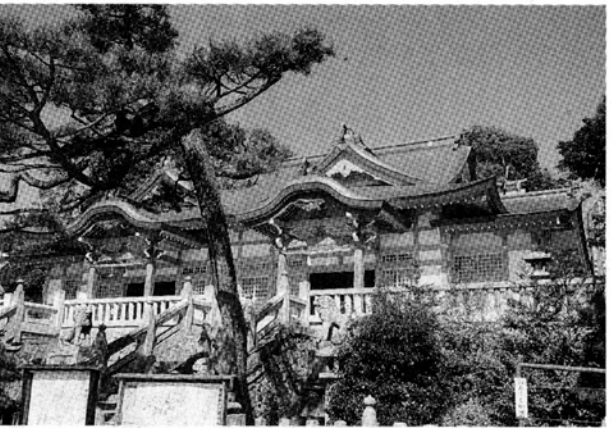


社殿竣功し奉祝祭 賑やかに奉納行事

鶴崎神社



【岡山】都窪郡早島町の鶴崎神社（太田浩司宮司）でこのほど、老朽化に伴ふ社殿の改築工事を終了し、十月十七日、秋の例祭に併せて社殿竣功奉祝祭を斎行。氏子総代や来賓など約二百人が参列した。

同神社の社殿は明治二十八年の建築で、近年は屋根の破損や柱の傾斜が進み危険な状態になってきたことから平成十九年

から改築工事を開始した。まづ本殿と並列する撰社の本殿を十日後方へ移設。旧社殿を取り解き、旧社殿と同じ双殿造で建設を始めた。社殿は横に長い拜殿を中心に唐破風向拝を前面左右に二殿配し、後方には幣殿、祝詞殿も各二殿設けられたほか、内部には神饌所、受付室、予備室、倉庫を併設した。

一方に盛りつけた特殊神饌三十台を神職、総代らが供へ、太田宮司が祝詞を奏上した。続いて笹井和男、神主、神代長が神社本庁幣を奉奠し祭詞を奏上。その後、岡山築所により「蘭陵王」が奉納された。

祭典後には竣功奉祝式典が社殿内でおこなわれ、安原昇社殿建築委員会委員長の式辞、太田宮司の挨拶の後、笹井和男、神主、神代長がこもごも祝辞を述べた。また、井上隆正代表取締役（業）井上隆正代表取締役（業）井上隆正代表取締役（業）への感謝状贈呈もおこな

はれた。式典に続いての奉祝行事では、岡山築所による雅楽や舞、倉敷アカデミーアンサンブルによるチェロとピアノの演奏、地元太鼓クラブの太鼓奉納、備中神楽倉敷社による神楽の奉納、琴や安来節などの奉納がおこなわれ、夜遅くまで賑はひを見せた。（藤山知之進通信員）

神社新報（平成二十一年十二月七日）

索引

【祭神】

- 市杵嶋姫命 79
- 倉稲魂神 64
- 応神天皇 62
- 孝靈天皇 3
- 神功皇后 62
- 崇神天皇 3
- 武甕槌命 63
- 玉依毘賣命 65
- 仁徳天皇 65
- 高崎市正貞政 10

【人名】

- 賀陽氏 7
- 児島熊吉 54
- 角南隆 53

【神社】

- 一の宮 23
- 神饌幣帛料供進神社 5
- 総社 23
- 撰社 6
- 都窪支部の神社 29
- 二十二社 23
- 末社 6
- 論社 27

【一般項目】

- 荒魂 4
- 石見銀山 19
- 江戸時代の秋祭り神饌 33
- 延喜式 26
- 堅魚木 44
- 官吏 101
- 教育勅語 66
- 教職員追放令 108
- 供膳祭 31
- 奇魂 4
- 倉敷県 107
- 荒神信仰 72
- 近衛府 55
- 御霊信仰 57
- 幸魂 4
- 三韓征伐 62
- 時代考証 4
- 神階 22
- 神官 107
- 神祇官 5
- 神宮五大祭 41
- 神社明細書 6
- 神勅 40
- 受領名 101
- 宣旨 22

【伝説・逸話】

- 随神門改築の逸話 54
- 蘇民将来伝説 32
- 日本武尊伝説 71

【図・表】

- 吉備を冠する全国の神社 15
- 吉備津彦命を祀る神社 17
- 吉備津彦命の系譜 4
- 社殿の配置図 61
- 社名に御崎を冠する神社 14
- 神階一覧 22
- 神社の祭祀 30
- 飛び地境内神社配置図 68
- 二十二社一覧 24
- 桃太郎伝説位置関係図 14